



深草徹の“ここがポイント”

自衛隊への名簿提供は不法行為

深草 徹



神戸市は自衛隊との間で、本年4月2日から来年4月1日までに18歳、もしくは22歳に達する神戸市民に関し、住民基本台帳から住所、氏名、生年月日、性別の「4情報」を抽出・記録した電子記録媒体を提供する、との覚書を取り交わしました。これに基づき、神戸市は自衛隊に対し、この5月に22歳・東灘区住民分を提供し、6月中には18歳・全市民分を提供することにしています。

神戸市は、住民基本台帳上の4情報は、基本的に「公開情報だ」という考え方のようです。

しかし、住民基本台帳法は、住民基本台帳上の4情報を抽出・記録した書類を「住民基本台帳の一部の写し」と定め、それを閲覧する制度を定めているものの、「住民基本台帳の一部の写し」（上記の電子記録媒体もこれにあたります）を、第三者に提供することは認めていません。

2003年9月12日最高裁判決（早稲田大学名簿提出事件）は、氏名、住所及び電話番号を記載した名簿は、「プライバシーに係わり、法的保護の対象となる」「これを大学側が無断で警察に開示するのは、不法行為を構成する」と断じています。

神戸市が無断で、住民基本台帳上の4情報を抽出・記録した電子記録媒体を、自衛隊に提供することは不法行為であり、許されません。

（深草憲法問題研究室主宰、九条の会、ひがしなだ共同代表）

安倍首相の3蜜 ＝秘密・密談・密計

横林賢二

検察官定年延長を含む国家公務員法改正問題が、マスコミで毎日のように取沙汰されている中で出たのが森友・加計・桜を見る会の事でした。嘘を隠すために密葬＝密かに葬り去ることを続けた安倍首相の3蜜は、「秘密」「密談」「密計」です。

その怒りが今回、ツイッターデモという形で表面化しました。これまで芸能人や文化人は自分の言いたいことが言えず、言えばマスコミから排除される「常識」がありました。

映画「キネマの神様」の主演予定だった志村さんの代役、沢田研二さんが60歳にして、マスコミと手を切り自分のやりたい事をする、と憲法改悪反対の声を上げたのは有名な話です。

今回、多くの歌手や芸能人は「新たなデモ」の形態に参加しました。世の中を変える力は、若い人がもっと強く怒りの声を上げていく事、それが重要と気付かされた5月でした。

（須磨区在住、71歳）

原発の断り方 ～芦浜原発阻止運動に学ぶ～

高橋精巧

熊野灘は黒潮が運んでくる豊かな漁場である。

子のために漁場を守るのは親の義務である。

1963年中部電力は、ここに原発建設計画を表明した。

翌年、7漁協が原発立地反対を決議し、反対闘争が始まる。

芦浜の闘いは、前段1963～67年と後段1984～2000年として語られる。前段の闘いは、「七人の侍」といわれた組合長が先頭に立った漁協中心の戦いであった。

日本初の漁民海上デモを行い、原発の本質を見抜いた漁民たちの闘いであった。

後段の闘いでは、有志会や母の会などの住民グループ、いわゆる「第二世代」が立ち上がった。そして、93年1月の朝、神前浦漁協の広場に続々と町民が集まり始めた。やがて群衆は、3500人町人口の1/3強にまで膨れ上がり、芦浜原発反対闘争史上空前の大集会とデモになった。主催は「南島町原発反対の会」を名乗る青年たち「第三世代」の登場である。

計画発表から37年間、推進か否かで地域を分断する壮絶な闘いの末、2000年2月22日、北川正恭知事（当時）が計画の白紙撤回を表明。

原発建設は事実上、中止された。この闘争の歴史は今、1冊の本となっている。

（さよなら原発神戸アクション）



むくげ通信300号！！

～～「継続は力」を実感～～

飛田 雄一



2020年5月31日、『むくげ通信』第300号を発行しました。

この通信は、朝鮮の言葉・歴史・文化を学ぶサークル「むくげの会」発行の機関誌で、A4版28頁。スタートは1971年1月ですので、50年近く出し続けてきたこととなります。

初期の通信は、事務連絡的なものでした（1971年1月、1～3号）。同年9月の第9号からは、少し通信らしいものとなり、1974年1月の第22号からは、ほぼ現在の体裁の通信を発行しました。1995年1月の阪神淡路大震災のときは、1月号・3月号の合併号を出しましたが、その他は、年6回の発行を続けてきました。

300号は、記念号として増頁（44頁）での発行で、むくげの会関係の新聞記事も収録しています。また1～299号の総目次集（60頁）も発行しました。

希望者には、無料でお送りします。飛田 hida@ksyc.jp までご連絡ください。よくぞ、ここまで続いたと思います。

（神戸学生青年センター理事長）

ハナ絵モンの思い

私の「保活」記録② ～～もっと保育士を、もっと認可保育施設を～～

関本（市川）英恵

「保活」の成果があり、この4月からは、近くの保育所に通えることになりました。

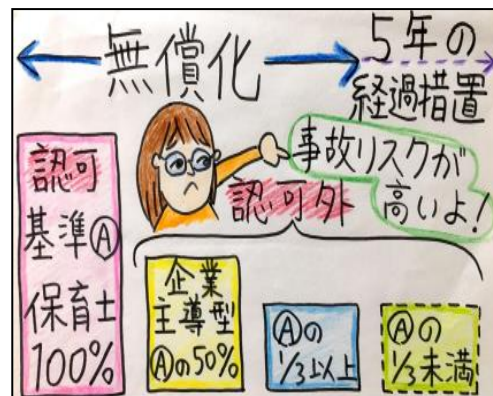
私の「保活」は、調整点数が5点加算されるように、認可外保育施設等を週4日以上有償で利用し、復職することですが、この選考方法に疑問を感じます。

なぜならば、保育士配置基準などの基準を満たした訳ではない認可外施設への誘導になるからです。我が子がお世話になった認可外施設はオープンしたばかりだったため、まだ子どもの人数が少なく、保育質の広さにゆとりがあり、保育者の眼が行き届いているように見えました。

しかし、保育者の半数は、無資格者でした。全国的に見ると、認可外施設の死亡事故発生率は、認可施設に比べて25倍以上だそうです。

認可施設を増やすことは、親が安心して働けるようになることで、あり、社会全体にとって、メリットがあると思います。保育士の処遇を改善し、子どもに対する保育士の数を増やして欲しいです。自己決定権や生存権、勤労の権利を確立するには不可欠です。

（「憲法の歌」作詞者、「住むこと・生きること・追い出すこと」著者）



自衛隊への名簿提出を考える集会 開かれる

～自衛隊に住民基本台帳の一部の写しを提供してはならない～

深草徹さんが講演



6月21日（日）神戸市勤労会館において、神戸・市民要求を実現する会主催、自由法曹団兵庫県支部共催の「自衛隊への名簿提出を考える集会」が開かれました。

集会では、九条の会・ひがしなだ共同代表の深草徹さんが「自衛隊に住民基本台帳の一部の写しを提供してはならない」と題して講演。深草さんは、この問題の現状、何故神戸市は取り扱いを変更したのか、関係法令の解釈、憲法9条の視点などについて詳しくのべ、

結論として「神戸市が自衛隊との間に募集対象者情報を記録した電子記録媒体を提供する覚書を締結し、実施することは当該住民のプライバシーの権利を侵害し、違憲、違法であって、不法行為を構成する」と指摘しました。

集会では今後の行動として①「渡さない会」への加入呼びかけ、②地域での会の結成・参加、③個人署名・ネット署名への取り組み、④市民への周知などが提起され、確認されました。

1枚のハガキ

公庄れい

それは、1926年9月、19歳の学生がエスペラントの新聞で見つけたアドレスを頼りに、一人のベルギー人に送ったハガキである。

高野山の金輪塔の写った絵ハガキは、ウラジオストック経由、シベリア鉄道でヨーロッパに運ばれている。

このハガキをネットで入手したイギリス人クリス氏が、差出人についての調査をこの春、日本人造園師田邑氏に依頼した。1862年から毎年5月に行われているロンドン、チェルシーの英国国王主催のフラワーショー出展準備の為、ロンドン滞在中の田邑氏に、このショーの関係者であるクリス氏からの依頼だったのである。

ハガキの差出人・下前幸一は後年、神戸のドイツ領事館に勤め、真珠湾攻撃の数日後、憲兵に呼び出され、反ナチ在神戸ドイツ人あぶり出しの通訳をやらされ、その時の凄まじい拷問に、戦後その時のドイツ人に仕返しをされるのではないかと恐れた。

と、その事を口にしたのは、戦後も十数年経ってからだった。

第一次世界大戦の悲しみの中から生まれたエスペラント。今、花で世界をつないで行こうとしている、日本の若い人達に拍手を送りたい。

(孫たちの将来を案じるおばあちゃんの会)

「私の戦争体験（第7集）」ができました

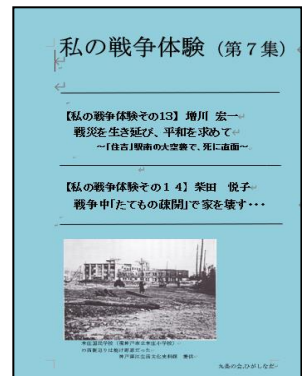
2018年7月1日の増川宏一さん、2019年8月4日の柴田悦子さんに「私の戦争体験」を語っていただいた記録集ができました。

お二人の戦中の経験のお話とともに、毎日新聞神戸支局、神戸深江生活文化史料館から提供をいただいた空襲の写真も添付しています。1冊300円、申込は事務局（西谷）又は世話人までご連絡ください。

(080-1485-5603 西谷)

カンパの郵便振替口座

口座記号 00900-6
番号 217129
名義 九条の会. ひがしなだ



編集後記

先月のニュースの發送時に「個人情報」の電子データを自衛隊に提供しないことを求める要請署名」を同封したところ、多数の署名をお送りいただきました。また九条の会への支援募金を匿名の方からもいただきました。この場を借りて厚くお礼申し上げます。

(N生)